

GOURMET

日本のご当地グルメフェア

普段なかなか味わえない全国のご当地グルメを食べて観戦しませんか。入場は無料です。

日時：9月10日 10:00～17:00
9月11日 10:00～17:00
9月12日 10:00～14:00

場所：藤波運動公園テニスコート入口

東海地区：①富士宮やきそば

中部地区：②名古屋たむす

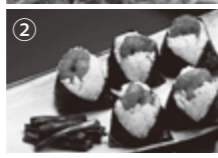
近畿地区：③明石焼き

④有頂天肉巻きおにぎり

九州地区：⑤佐世保バーガー

中国地区：⑥ホルモン焼きうどん など

※一部変更がある場合があります。



EVENT

★やってみんかいね【9/5～12】

ボールが穴に入ればお菓子プレゼント。

★ベテランエキジビジョンマッチ【9/7】

日本プロテニス協会渡部理事長と石黒副会長がプレーをします。

★プロコーチレッスン会【9/8～10】

時間：13:00～14:30

講師：榑木聖(ちしゅき・ひじり)

参加費：1,000円

★ソフトテニスレッスン会【9/10～12】

地元中高生に特別レッスンを実施。

講師：篠原秀典

★表彰式セレモニー

日本航空高校の吹奏楽団(9/11)とダンス部

(9/12)が登場します！

大会日程やイベント詳細は、大会ホームページまで

能登国際 2010

検索

MESSAGE



トーナメントディレクター
佐藤直子さん

昨年の優勝者がオーストラリア・オープン・ジュニアで優勝しました。能登から巣立った選手が世界の舞台で活躍してくれる。これほど嬉しいことがあるでしょうか。私は能登国際オープンを、人々が誇りと夢を持ってかかわることができる「伝統あるトーナメント」に育てていただきたいと思っています。ぜひ会場に足を運んで、選手たちに声援を送ってあげてください。

能登国際女子オープンテニス

'10



藤波運動公園
能都健民テニスコート

「進化」するトーナメント。今年も熱い戦いが「能登」で繰り広げられる。

PRESENT

6日(月)から10日(金)の平日期間中、左下の引換券を持参して観戦に来てくれた人に、ラプロ恋路、縄文真脇温泉、なごみ、能登やなぎだ荘で使える入浴券をプレゼントします。入浴の期限は9月10日(金)までで、期間中入浴できなかった人には、海洋深層水20ℓを無料で提供します。

そのほかにも、テニスグッズや記念Tシャツが当たる抽選会も実施します。

MANNER

- ①好プレーには、惜しみない拍手喝采をお願いします。
- ②逆に、ミスに対する拍手喝采は遠慮ください。
- ③特にダブルフォルトには、「暖かい沈黙」を...
- ④奇数ゲーム終了時(チェンジコート)に入内りすることができます。
- ⑤カメラのストロボと動画撮影は禁止です。
- ⑥試合中コートの周りをうろうろしたり、雑談は避けたいものです。
- ⑦携帯電話はマナーモードに設定してください。

RULE

テニスは4球の先取で1ゲームを獲得し、6ゲームを先取すると1セット獲得します。女子の場合は3セットマッチで行われます。

ポイントは、0(ラブ)、15(フィフティーン)、30(サーティ)、40(フォーティ)と数え、3ポイントの同点の場合はデュースとなり、そこから2球連続取得した方がゲームを獲得します。

1対1で対戦する「シングルス」と2対2で対戦する「ダブルス」では、コートの広さが違います。ダブルスの場合、両サイドは一番外のラインですが、シングルスはそれよりも1.37m内側のラインになります(サーブを入れるエリアは同じ)。

大会スケジュール

	試合開始 予定時間	予定試合
5日(日)	9:30～	シングルス予選1回戦
6日(月)	9:30～	シングルス予選準決勝・決勝 ダブルス予選決勝
7日(火)	9:30～	シングルス本戦1回戦 ダブルス本戦1回戦
8日(水)	9:30～	シングルス本戦1回戦 ダブルス本戦1回戦
9日(木)	9:30～	シングルス本戦2回戦 ダブルス本戦準々決勝
10日(金)	10:00～	シングルス本戦準々決勝 ダブルス本戦準決勝
11日(土)	11:00～	シングルス本戦準決勝 ダブルス本戦決勝
12日(日)	11:00～	シングルス本戦決勝

※観戦は無料です。
※試合開始時間、予定試合は変更になる場合があります。
※試合は海側のコートで行います。山側コートは練習用とイベント用に使います。
※1試合の試合時間は早い場合で約1時間、接戦の場合は3時間近くかかる場合もあります。



'09大会優勝
カロリナ・プリスコワ選手(チェコ)



写真家 中乃波木

【PROFILE】昭和54年、東京都生まれ。中学の2年半を旧柳田村で過ごす。東京造形大学写真学科卒業。広告写真制作会社を経て写真家として独立し平成19年12月に初の写真集「Noto」を出版。その後、活動拠点を能登町から金沢市に移す。現在は東京で次の写真集出版に向け活動中。

「わたしの撮りたいものは能登。そのままで刺激される美しさや生命力がある自然が能登の魅力です」

平成19年に写真集「Noto」を出版した写真家中乃波木さん(30) 〓中斉〓。中学時代を旧柳田村で過ごし、写真家を目指して上京した後も、帰省した時には能登各地を飛び回って撮影していたという。

大学の写真学科卒業後、1年間のアシスタントを経て独立。「勉強にはなっても撮りたいものが撮れませんでした。自分の仕事として割り切れなかったんです」と当時を振り返る。

独立し、フリーカメラマンとなった中さんは「自分が撮り続けてきた能登の写真集を出す」という目標を掲げた。

自分が良いと思う出版社に売り込みの日々。「3カ月働いて、能登に戻って撮影。現像して編集者に見てもらおうという生活が続いて、編集長に会うまでに4年半かかりました。編集長に写真を見てもらってから、3カ月後に写真集を出すことが決まったんです」。

独立して5年。目標に向かっ

て「一步一步階段を昇った中さんの努力がようやく実を結んだ。10年間撮り続けてきた能登。写真集には比較的新しい写真が選ばれたという」。

「昔は祭りや風景など派手な写真が多かったんです。編集長が決めた写真集のコンセプトは、枚数を減らして一枚一枚じっくり見てもらおうというもの。自分なりに能登の魅力に気づいた10年目だからこそできた写真集でした」

「Noto」から「能登」へ

写真集「Noto」は、写真家・中乃波木を『能登の写真家』として多くの人に知らしめた。

「都会の人にとっては能登は未開の地。だからわたしの写真が新鮮に映ったんだと思います。能登は今注目されていて、行ってみたいと思っている人はたくさんいます。ただ、求められているものは『芸術性』です。自然の美しさだったり素材さだったり。そのままの能登が都会の人にとっては芸術のように映るんです。わたしが能登をきれいだと感じて撮影してきた

ことは、間違ってたかっただと感じています」

新たな目標へ

写真集という目標を達成した中さん。「次に何を撮りたいか探すためには能登に住むしかない」と活動拠点を能登に移す。

能登で暮らしながら、中学生に密着したり、能登で働く男の人を撮影したりとテーマを決めた撮影を重ねた。1年後に金沢へ。「能登の風景に慣れないように少し離れた距離がちょうどいい」という思いがあった。

『Noto』から3年。作品も増え、次の写真集の売り込みに東京へ出かけるようになった中さん。「本気で売り込むには、東京に住むしかない」と今年5月に東京行きを決めた。

決断したら行動は早い。今自分が何をすべきか。その感覚を大切にしているからだ。

「悔いを残さないように、今の自分にしかできないことをやりたい」

新たな目標を決めた写真家・中乃波木。持ち前の行動力で、一歩ずつ前に進んでいく。

今の自分にしか
できないことを
やりたい。



2010 国勢調査 人口予想クイズ

平成22年10月1日 (石川県・能登町合同)

平成22年国勢調査への理解を深めてもらうために、石川県と能登町合同で人口予想クイズを実施します。

●問題

- 10月1日の石川県の人口は何人でしょうか？
- 10月1日の能登町の人口は何人でしょうか？

※正解は、平成23年2月に総務省統計局が公表する人口速報集計結果とします。

●賞品

問題①の当選者 山中温泉・山代温泉・片山津温泉・湯涌温泉・和倉温泉・輪島温泉郷の宿泊優待券(3万円相当)・・・県内で6人※ただし各温泉地につき1人とします。

問題②の当選者 県特産品セット・・・能登町で1人、(財)能登町ふれあい公社施設利用券(3千円分)・・・能登町で3人

参加賞 図書カード500円分・・・県内で100人

●応募資格

石川県能登町内に居住している人(県・市町の統計主管課職員およびその関係者は除く)

応募は1人1回限りとします。

●応募方法

官製はがきまたは応募用紙、インターネットの応募専用フォームで①問題1の答②問題2の答③郵便番号④住所⑤氏名(ふりがな)⑥年齢⑦電話番号を明記の上ご応募ください。

●応募期限

平成22年10月7日(木)(はがきは当日消印有効、応募専用フォームは当日24時受信まで有効)

●あて先

〒920-8580

金沢市鞍月1丁目1番地

石川県県民文化局県民交流課統計情報室 人口予想クイズ係

●応募用紙および応募箱

能都・柳田・内浦各サービス室、小木・鶴川支所にあります。

応募専用フォーム

<http://toukei.pref.ishikawa.jp/news/census/kuizu.htm>

●当選者

正解の人口に一致するか最も近い人から順に入賞者を決定し、同じ答が複数ある場合は抽選します。

参加賞は、問題1および問題2の当選者を除く応募者全員の中から、抽選により決定します。3月上旬までに当選者本人に通知します。

●個人情報の取り扱い

取得した個人情報は、人口予想クイズ実施の目的以外には使用しません。

2010 国勢調査

平成22年10月1日



国勢調査は みんなで描く 日本の自画像

今年国勢調査の年

10月1日、全国一斉に国勢調査を行います。大正9年から5年ごとに行われ、今回で19回目になります。

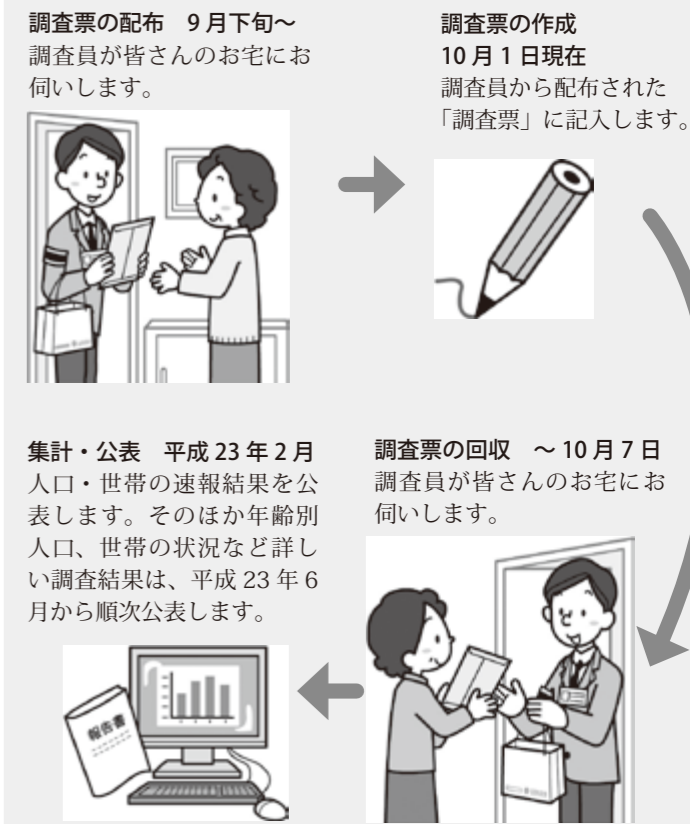
少子・高齢化社会の姿を明らかに

国勢調査は、日本の人口、世帯、就業者からみた産業構造などの状況を地域別に明らかにするために用いられるもので、国の最も重要な統計調査です。特に今回は、わが国が本格的な人口減少社会となつて実施する最初の国勢調査であり、日本の未来を考えるために欠くことのできない重要な調査です。

調査員が伺います

調査員が9月下旬から各世帯を訪問して、調査票を配布します。調査の内容は▽男女の別▽出生の年月▽就業状況▽通勤・通学地▽住居の種類など全部で20項目です。調査の対象は、10月1日現在、日本に在住する人で、①すでに3カ月以上住んでいる人②10月1日の前後を通じて3カ月以上住むことになっている

〈調査の流れ〉



わたしたちの暮らしに役立てられます

調査の結果は、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策、児童福祉、地域の活性化など、わたしたちの暮らしのさまざまな分野で役立てられる基礎データになります。

お勧めしています。
※能登町では調査員への提出をお勧めしています。
記入いただいた調査票は、封筒に入れ封をした上で調査員に渡していただくか、市区町村に郵送で提出していただきます。

【報告義務】

国勢調査は、統計法で基幹統計調査として位置づけられています。基幹統計調査では、調査票に記入して提出することの報告義務が定められています。

【個人情報保護と調査票の管理】

調査員をはじめとする国勢調査に従事する人には、統計法によって、調査で知った個人情報を保護するための厳格な守秘義務が課せられています。

調査票に記入していただいた内容は、統計の作成以外に使用することはありません。また、提出いただいた調査票は、外部に漏れないように厳重に管理し、集計が完了した後は完全に溶かし、再生紙として生まれ変わります。



調査で知り得た事柄はほかの人に話さない

正確な統計に基づいて、公正で効率的な行政を行うためには、日本に住むすべての人・世帯からの漏れない正確な回答が必要となります。

調査が正確かつ円滑に実施されるためには、関係者の皆さまの幅広いご支援がぜひとも必要ですので、調査関係者が伺った際には、ご協力をお願いします。



ヒント 平成17年国勢調査では、石川県 1,174,026 人、能登町は 21,792 人でした！

詳しくは、<http://toukei.pref.ishikawa.jp/news/census/kuizu.htm> まで

『道路交通センサスのお知らせ』

～快適な道路利用のための調査です～
国土交通省では、都道府県、政令指定都市、高速道路会社などと連携して、自動車の使用状況や道路の状況などを調べる「道路交通センサス(全国道路・街路交通情勢調査)」を平成22年9月から11月にかけて実施します。

道路交通センサスは、いわば道路に関する国勢調査として、昭和3年から概ね5年に一度の割合で実施している全国的な規模の調査です。その調査結果は、将来の道路計画や都市計画などを策定する上での重要な資料となります。

全国の自動車を所有する人の中から無作為に選定(100台あたり約2台の割合)された人のご家庭に、調査員が訪問してアンケート調査を行います。調査へのご理解とご協力をよろしくお願ひします。

国土交通省北陸地方整備局

金沢河川国道事務所調査第二課

ホームページ <http://www.mlit.go.jp/road/h22census/>

11 / 6・7日

出品・
出演者募集

〈申込期限〉平成22年9月22日(木)

〈申込先〉最寄りの公民館まで

〈出品・出演料〉一人500円(中学生以下は無料)

※作品搬入時またはリハーサル時に持参ください。

※この募集は一般の人を対象としています。文化協会員は各理事までお問い合わせください。



【芸能の部】

会場：能都庁舎4階ホール 日時：7日(日)(時間は後日決定)

リハーサル：6日(土)10:00～(必ず行ってください)

- ・詩吟・邦楽・民謡・舞踊・大正琴・三味線・コーラス・フラダンス
- ・郷土芸能 ほか

◎申し込みは個人・団体を問いません。

◎出演時間を制限する場合があります。

【芸術の部】

会場：能都体育館・山村開発センター・宇出津公民館

日時：6日(土)9:00～17:00、7日(日)9:00～15:00

- ・書道(半切 額または軸装)・華道(小品または中作)・絵画(20号以内)
- ・水墨画(20号以内)・俳句・短歌(短冊・色紙・半切 額または軸装)
- ・写真(四つ切り以上)・魚拓(額または軸装)・押し花・切り絵・陶芸
- ・編み物・菊花・民芸・囲碁・茶道・盆栽・水石・山野草 ほか

◎搬入日時：5日(金)13:00～15:00

◎搬出時間：7日(日)15:00～(時間厳守)

能登町文化協会

各部門に関すること 芸術：☎76-1125(新出) 芸能：☎62-0785(干場)

文化祭全体に関すること 会長：☎72-0352(高木) 理事長：☎62-1277(日下)

第6回能登町民

文化祭



子ども議会
2010

能登町初の子ども議会を開催。柳田中1年生25人が参加しました。



持木町長の答弁を真剣に聞く生徒ら。初めての開催を記念し、町有線テレビでも生放送されました。

中 学生が町政に興味や関心を持ち、社会への参画意識を高めることを目的に、「能登町子ども議会」が8月20日に議会庁舎で開催されました。本年度は柳田中学校の1年生25人が「子ども議員」として参加。23人が日ごとの疑問や活性化策の提案など町政に対する質問を行い、持木町長が答弁しました。子ども議員の質問は次のとおりです。

- ①危険な通学路
珠洲道路の歩道が狭い場所は事故が起これるのではないかと不安。対策は。
- ②道に落ちているごみについて
町としてごみを捨てないよう呼び掛けたり、ごみ拾い活動をしたりしないのか。
- ③星の観望館「満天星」の充実
能登町すべての小中学校が満天星で星を眺めるイベントを考えてはどうか。
- ④特色ある能登町について
町活性化のために、これから何に一番力を入れたいと考えているか。
- ⑤サルビアロードについて
サルビアの世話は誰がしているのか。中学生も携わることとはできないか。
- ⑥中学生海外研修について
今後も事業を続けていくのか。
- ⑦ブルーベリーの活用
年間売り上げは、学校でも栽培可能か。
- ⑧海洋深層水について
野菜栽培以外の活用法は。ペットボトルの売り上げ状況は。
- ⑨電灯の増設について
危険と思われる場所に電灯を増設できないか。その条件は。
- ⑩地域のごみ出しの仕方について
ごみ出しのマナーが悪い。対策は。
- ⑪柳田球場について
雨上がりに練習できない。
- ⑫能登空港の増便
増便できないか。現在の搭乗率は。
- ⑬少子高齢化対策について
町の対策は。一人暮らしの高齢者が何人いるのか。その配慮は。
- ⑭小中学校の合併について
少子化が進むが、合併を考えているか。
- ⑮就職先について
将来能登町で就職したいが、働く場所が少ない。
- ⑯海岸清掃について
月2回海岸清掃をし、ポスターでごみを捨てないよう呼び掛ければどうか。
- ⑰伝統工芸品について
久田和紙のような伝統工芸品のPR状況や活用状況は。
- ⑱川にたまっている土砂について
洪水の可能性もある。土砂を取り除くことは可能か。
- ⑲テレビ番組について
地デジ化のことや今後のテレビ番組について教えてほしい。
- ⑳能登ふるさと博について
具体的内容や能登町でのイベントは。
- ㉑宇出津方面への交通アクセス
今の交通では不便で能登高校への進学も考えてしまう。便利なバスの運行を。
- ㉒大雨の被害
大雨で洪水になると被害が大きい。対策を考えてほしい。
- ㉓植物公園について
公園内に施設が少ない。自然を生かした施設を増やせばどうか。

〔訂正内容〕(略) 今年12月末までのエコポイント制度の利用等で2011年7月のアナログ終了時期までに、全所帯にデジタルテレビが1台所有されるのが理想であるが、再度普及アンケート調査を行い、所有率によっては、利用者保護の観点から、平成27年3月までの緊急避難的措置としてデジタル変換に取り組み、最低限の視聴は守りたい(略)

〔訂正前〕(略) 今年12月末までのエコポイント制度の利用等で2011年7月のアナログ終了時期までに、全所帯にデジタルテレビが1台所有されるのが理想である。ただし、利用者保護の観点から、平成27年3月までの緊急避難的措置としてデジタル変換に取り組み、最低限の視聴は守りたい(略)

議会だより第21号(平成22年8月1日発行)6ページ「鍛冶谷真一議員の質問(能登町の地デジ対応)」に対する町長答弁について追加訂正があります。

山根敏秀さんがふるさと納税
寄付と名刺で古里を応援します

上町出身の税理士、山根敏秀さん（金沢市）が、8月2日に能登庁舎を訪れ、昨年引き続き『ふるさと納税』をしました。山根さんは「能登町の未来や発展のために有効にお使いください」と持木町長に能登町ふるさと応援寄付を手渡しました。

持木町長は、山根さんに『能登町ふるさと応援隊』の名刺を渡し「寄付金は循環型社会や海洋深層水の利活用促進などのために使わせていただきます。能登町の応援隊としても町のPRをよろしく願います」と話しました。山根さんは今回、5人目の能登町ふるさと応援隊となりました。



ふるさと応援隊の名刺を手に抱負を語る山根さん

大和に乗艦「白淵大尉」の手紙展示
海軍兵学校時代の心情を紹介

太平洋戦争で戦艦大和に乗艦し、21歳で戦死した白淵啓大尉の手紙展が、8月21日まで柳田教養文化館で開かれました。大尉は特攻の意義を巡って言い争う艦内の士官らを、「敗れて目覚める。それ以外にどうして日本が救われるか」と論じたとされています。能登町は大尉の父、白淵清忠氏の出身地です。

展示は、海軍兵学校から横浜市の母と妹に宛てた手紙の写し11点。手紙からは「国家に捧げた身でありますから、私のことは一切心配しないでください」と母を気遣い、妹には音楽や俳句を勧めるなど、大尉の心情や教養の高さが伺えました。



8月7日、元新聞記者の渡部圭司さんが大尉の青春について講演

辞令を受け取るベンジャミンさん（左）とシャーンさん



ALT辞令交付
子どもたちに生きた英語教育を

7月27日、外国語指導助手（ALT）のサーバス・マシューさん（米国）とソーバツ・ニコラさん（ニュージーランド）の退任辞令交付式が行われました。辞令を受け取った二人は、能登での2年間を振り返り感謝の言葉を述べていました。

8月5日には、新任のALTとなるシルバメン・ベンジャミンさん（米国）とボラック・シャーンさん（同）に辞令が交付されました。二人は「美しい能登町で働けることをうれしく思います」とあいさつ。持木町長は「町民の皆さんと触れ合い、子どもたちに生きた英語を教えてほしい」とお願いしました。

川に放流されたヤマメのつかみ取りに挑戦する児童ら



自然体験学習ツアー
能登の自然を満喫した夏休み

能登町と友好関係にある千葉県流山市の児童を対象に、平成18年度から実施している『能登の自然体験学習ツアー』。本年度は春蘭の里を舞台に7月26日から4日間の日程で実施され、流山市の児童17人が参加しました。

入村式のあと、児童らは6軒の農家民宿に分かれて宿泊。27日は能登町から参加した児童8人と里山の探検や川遊びで交流したり、キリコ祭りを体験したりと能登の田舎暮らしを楽しみました。参加した児童の一人は「初めてつかみ取りしたヤマメの塩焼きがおいしかった」とツアーの感想を話していました。

能登海洋深層水施設5周年記念イベント
利用してみても分かる深層水の魅力

小木沖約3.7キロ、水深320メートルから海洋深層水をくみ上げる能登海洋深層水施設。そのオープン5周年記念イベントが8月1日に開催されました。午前10時、小木小学校の鼓笛隊が小木港から会場までをパレード。会場では内浦商店連盟や能都北辰・能登高校の生徒らが出店し、深層水を使った特産品や加工食品などが販売されました。

このほか小木中学校プラスバンド部の演奏や室谷文音さんの作品展、能登杜氏組合振る舞い酒なども行われ、多くの人で賑わいました。



▲この日は深層水20%が無料で分水され、給水コーナーには長蛇の列ができていました。

◀パレードをして会場に入る小木小学校の鼓笛隊。会場には深層水で作った氷柱も並べられていました。

中学生海外研修解団式
オーストラリアでの経験を糧に

7月28日から10日間、オーストラリアでの海外研修に参加した中学生13人が8月6日に帰国。能登空港で解団式が行われました。引率の塩井満枝先生が「無事に戻りました。子どもたちは身を持って言葉の壁を感じ、これから英語の勉強を頑張ってくれると思います」と報告。生徒を代表し、大森彩加さん（能都中3年）が「すばらしい機会を与えてくださりありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。報告を受けた持木町長は「ホストファミリーや家族への感謝を忘れず、この経験を将来に生かしてください」と生徒たちに呼び掛けました。



オーストラリアでの経験を報告する大森さん

交流を深め、笑顔で記念撮影する生徒ら



PTPプログラム石川 in 能登町
アメリカの中学生40人と交流

7月19日から22日の3泊4日、アメリカの青少年団体PTPが派遣する中学生40人が、能登町を訪問しました。中学校訪問や家庭訪問を通じて国際理解を深めることが目的です。

20日の学校訪問では、書道・体育などを地元中学生と共に学び、給食を一緒にとりました。地元中学生たちも英語・日本語を交えて積極的にコミュニケーションを図っていました。能登町の印象について聞かれたアメリカ人中学生たちは「海がきれい」「自分たちを温かく迎えてくれてうれしい」など次々に感想を述べていました。